

上越地域医療連携センター・あたご4包括支援センター主催
上越あたご包括支援センター管内介護専門員支援事業
「介護支援専門員と医療専門職との連携研修会～訪問看護編～」
開催報告

開催日時：令和元年10月11日(金)16:00～17:30

会場：清里コミュニティプラザ 3階ホール

参加者：39名

職種内訳	介護支援専門員	18名
	訪問看護師	12名
	その他(包括職員・行政)	9名



<内容>

開会挨拶 上越あたご地域包括支援センター三和 管理者 三井明人

今回初めて、在宅医療推進センターとの共同開催になる研修会です。
エリア内の介護支援専門員は、この地域の医療・介護資源をうまく利用して
地域の高齢者の生活を支えていく役割を担っています。研修会を通して各医療
専門職の役割を理解し、顔の見える関係を作りお互い連携に努めて欲しい。
旨の挨拶をされた。

講演 「訪問看護の役割について」

訪問看護ステーションけいなん 西條 美雪 様



定義、サービスの内容、介入事例の紹介・説明をされ、最後に訪問看護の役割は「在宅生活を支えるケアチームをつなぐ」

- ・主治医と利用者・その家族をつなぐ
- ・主治医と関係機関をつなぐ

ことだとまとめられた。

グループワーク

テーマ「訪問看護導入時の医師との連携や介護支援専門員が抱える課題について」

1グループ6人で、7グループに分かれて話し合い、その後発表をしていただいた。



アンケート記入（結果は別紙参照）

閉会の挨拶 上越地域在宅医療推進センター

活発な意見交換がされ、「知らなかったことが分かった。また、自分の思いが伝えられた。」など、本研修会で感じていただくことが出来たと思う。次年度も包括さんを中心に、医療専門職との連携研修の継続を考えている旨を伝えた。

今後の課題

訪看の役割の理解は出来ているが、うまく活用できていない。

- ・地域資源に限りのある山間部の CM は、限りある地域資源で活動している。
- ・地域内外の訪看活用の情報が、職種内で伝達されていない為利用に至らない。
- ・医師との連携が取りにくいと思っている CM が多い。

等の事が考えられる。

地域によって医療介護資源・人材育成状況が異なる為、地域ごとの課題も異なる。

地域の現状に合った研修会が重要である。今後、あたごエリアの介護支援専門員の

スキルアップのために、4包括が中心となり研修会を継続していく事が望ましいと考える。